

令和6年度 四日市市感染症予防計画に係る事業推進について

1. 目的

「四日市市感染症予防計画」に基づき、新型コロナウイルス感染症への対応で判明した課題や教訓なども踏まえ、新たな感染症が発生した場合に備え、保健所の体制や関係機関との連携を強化していくとともに、まん延防止措置を速やかに講じることのできる体制を整備する。

2. 内容（予定）

(1) 感染症対応業務に従事する人材の養成 926千円
 専門的な保健所業務を支援する保健師・看護師・臨床検査技師等の外部専門人材（IHEAT登録者）や、市職員に対し、実践的な研修・訓練を実施する。

(2) 検査体制の充実

①「四日市市初期PCR検査センター」（仮称）の設置訓練 525千円
 新興感染症が発生した際、早期の段階から迅速に検査が実施できるよう、四日市医師会と市保健所が協力して設置を予定する「四日市市初期PCR検査センター」（仮称）に係る実践的な訓練を実施する。

②検査機器の購入 11,600千円

より感度・精度の高いPCR検査等を実施するため、検査機器を更新する。検査の研修・訓練を通じて、検査職員の資質の向上を図り、検査体制の充実を図る。

3. 予算額（予定）

13,051千円 (財源内訳) 国庫支出金(1/2) 6,419千円
 一般財源 6,632千円



【PCR検査（検体採取）イメージ】